

令和5年8月17日

東部農林水産振興センター出雲農業部

標題 | 作業時間大幅削減！春作ブロッコリーでドローン防除を導入

(ダイジェスト)

JAしまね出雲ブロッコリー部会では、労力削減とコスト低減を図るため、春作ブロッコリー栽培で、ドローンを活用した病害虫防除に取り組みました。防除は、ドローンで4回、ハイクリブームスプレーヤーで1回行い、病害虫の発生は最小限に抑えられ、その効果が確認できました。

出雲地域でのドローン活用は、主に水稻の播種や防除に利用されていました。ドローンの操作性の向上や登録農薬の拡大等により、園芸分野での利用が期待されていました。

【ドローン防除のメリット】

- ① 薬剤の量が慣行と同程度か少なく済む
- ② 散布量が少ないため、短時間で散布準備が可能
- ③ 圃場までの移動が容易(軽トラで運べる)
- ④ 複雑な地形の圃場でも散布可能
- ⑤ 収穫作業の効率化

※慣行防除では、ハイクリブームスプレーヤーにより畝間に深い溝ができるため、収穫の作業能率が低下

今回は春作ブロッコリーの30aのほ場で取り組み、防除に要する準備、及び散布の作業時間が、30分となり、慣行防除50分に対して、40%の削減となりました。生産者の方は、「防除に関わる時間が大きく削減され、楽になった」とドローンの労力削減効果を実感されていました。

農業部では、秋冬作ブロッコリーでも、その効果を検証していきます。また、防除回数が多い野菜では更に労力削減効果が大きくなるため、今後も、そうした野菜でドローン防除を進めていきたいと思います。



【ドローン防除の様子】



【収穫間近のブロッコリー】